

手のひらに、明日をのせて。

^{NTT}
docomo

IPv6によるインターネット利用高度化に関する研究会(第19回)

資料19-2

NTTドコモにおけるIPv6対応の取り組み

2012年5月30日
株式会社NTTドコモ

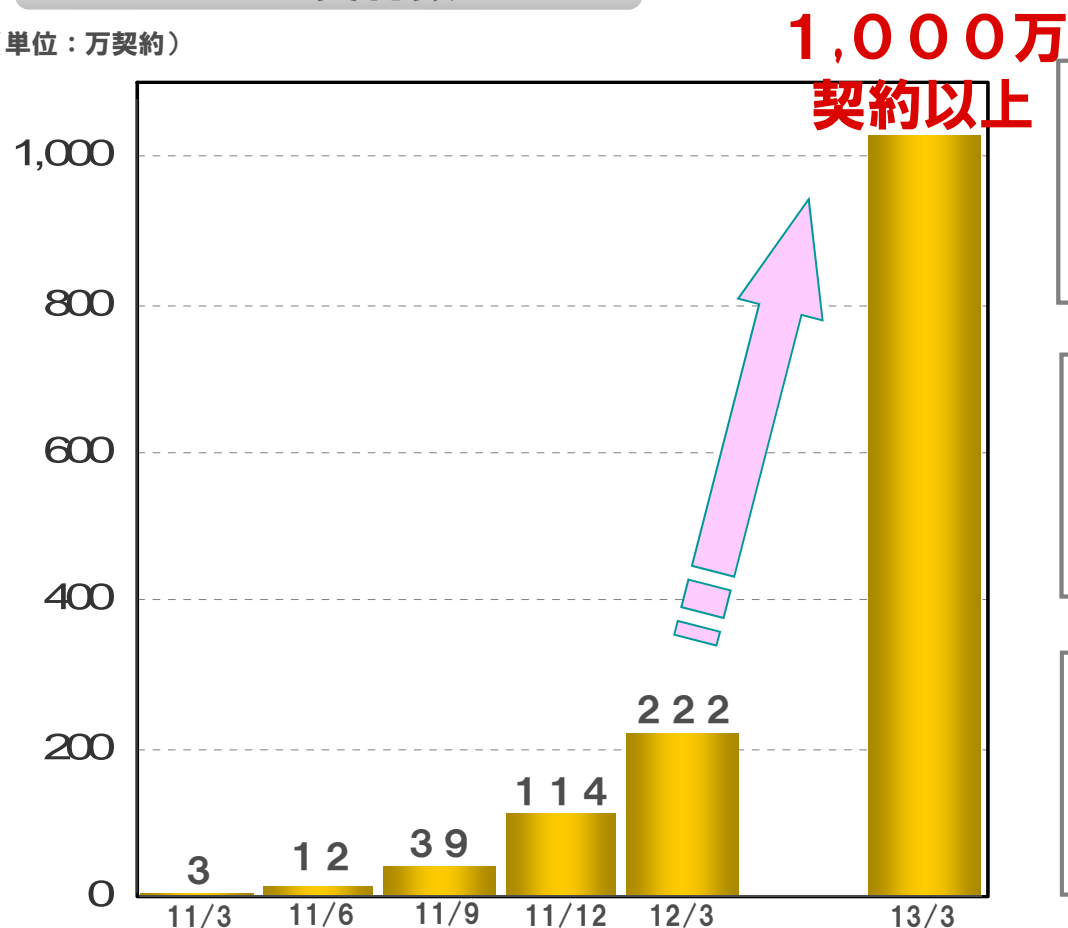
- Xi(クROSSi)のご紹介
- IPv6を利用したインターネット接続サービス
- IPv6対応の今後の課題

「Xi」(クロッシィ)契約数の拡大

- 2011年度末の契約数は222万契約と大幅に拡大
- 2012年度は1,000万以上の契約数をめざす
- 端末ラインナップ・料金プラン・エリアを充実させ、高速データ通信市場を先行して開拓

Xi 契約数

(単位：万契約)



■端末ラインナップ

- ・魅力的な機能・サービスを搭載したラインナップの充実

■料金プラン

- ・お客様が使いやすい料金プランの展開

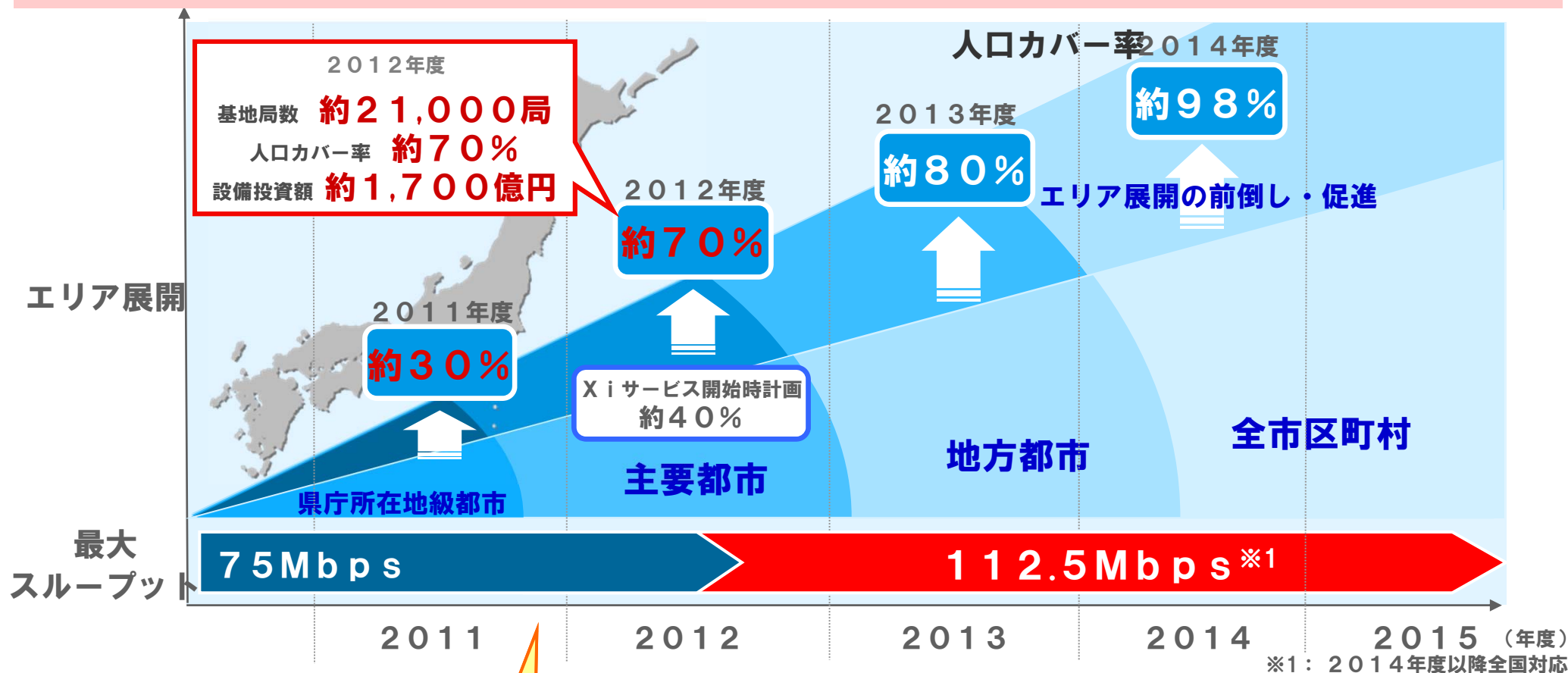
■エリア

- ・3月30日に全国政令指定都市人口カバー率100%※達成
- ・他のエリアも先行して構築

※ 政令指定都市人口カバー率は、全国政令指定都市の市役所および特別区（東京23区）の区役所が所在する地点における通信が可能か否かを基に算出

「Xi」(クロスシ)のエリア展開

- 2011年度末時点で人口カバー率約30%、2012年度末には約70%まで拡大
- 2012年度 第3四半期には800MHz、1.5GHz帯においてもXiを提供開始予定
- 一部地域では1.5GHz帯を使用した下り112.5Mbpsのサービスを2012年度中に提供開始予定



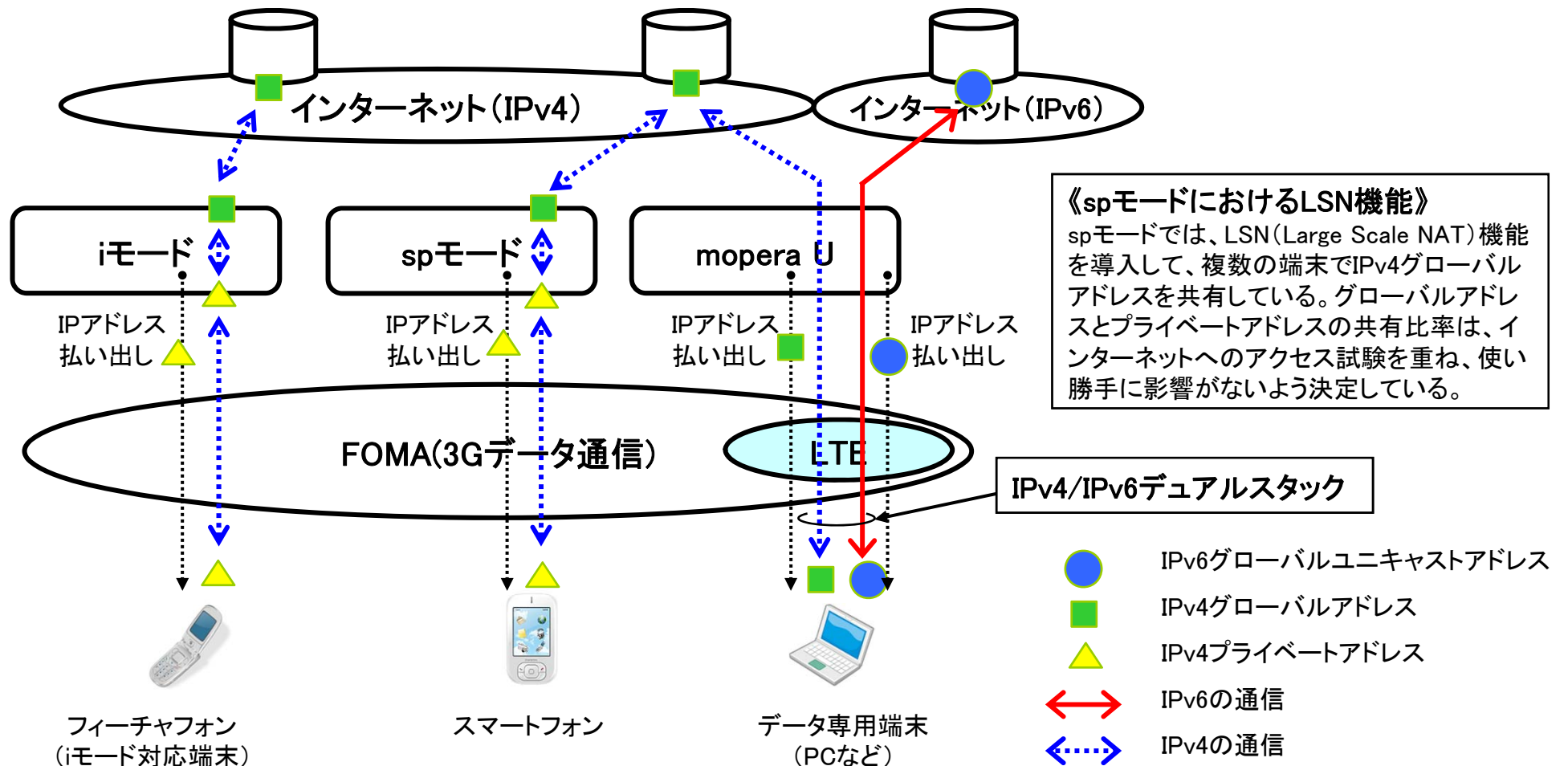
2012年3月30日 全国政令指定都市人口カバー率100%※2を達成

※2: 政令指定都市人口カバー率は、全国政令指定都市の市役所および特別区(東京23区)の区役所が所在する地点における通信が可能か否かを基に算出

| | | |
|--|--------|--|
| | 対象端末 | iモード対応端末 |
| | 提供サービス | インターネットサービス、メールサービス、セキュリティサービス、コンテンツ決裁、海外ローミング、など |
| | 対象端末 | スマートフォン |
| | 提供サービス | インターネットサービス、メールサービス(@docomo.ne.jp)、セキュリティサービス、コンテンツ決裁、海外ローミング、など |
| | 対象端末 | データ通信専用端末、スマートフォン (固定ブロードバンド、無線LAN経由のPCなど) |
| | 提供サービス | インターネットサービス、メールサービス、セキュリティサービス、海外ローミング、など |

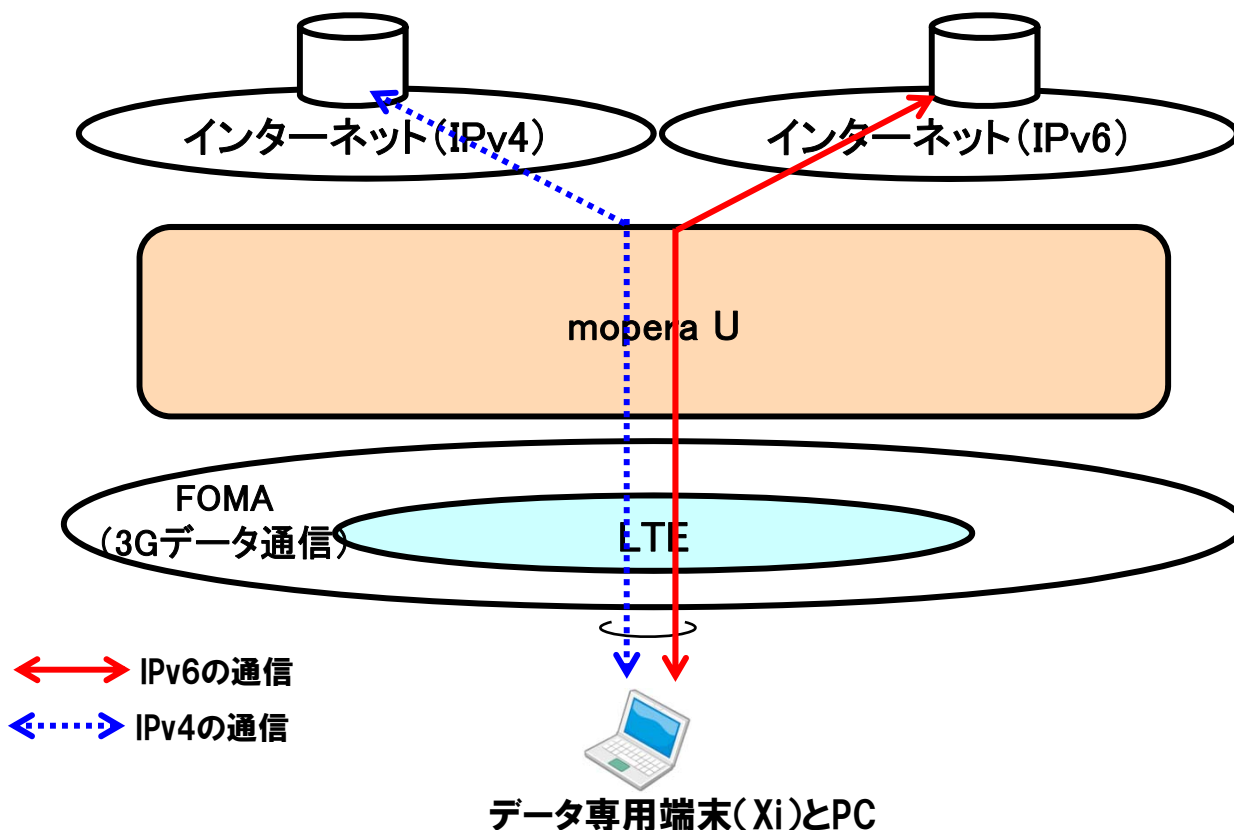
インターネット接続サービスにおけるIPアドレスの利用方法 NTT docomo

- iモード、spモードは、端末にIPv4プライベートアドレスを付与し、インターネットへの接続はIPv4グローバルアドレスに変換して接続している。
- mopera Uは、IPv4グローバルアドレスを端末に付与してインターネットへ接続している。Xi(クロスシ)のデータ通信端末とPCの組合せで、IPv6グローバルユニキャストアドレスの利用が可能。



mopera UのIPv6サービス

- Xi(クロッシィ)のデータ通信端末とPCの組合せによるIPv6インターネット接続サービスを提供中(追加料金なし)。
- モバイルによるIPv6接続環境を実現。



《IPv6サービスのご利用条件》

- ・ Xiのご契約
- ・ mopera U(Uスタンダードプラン)のご契約
- ・ XiのIPv6対応端末(現在は、L-02C/F-06C/L-03D)
- ・ 事前にIPv6利用をONに設定

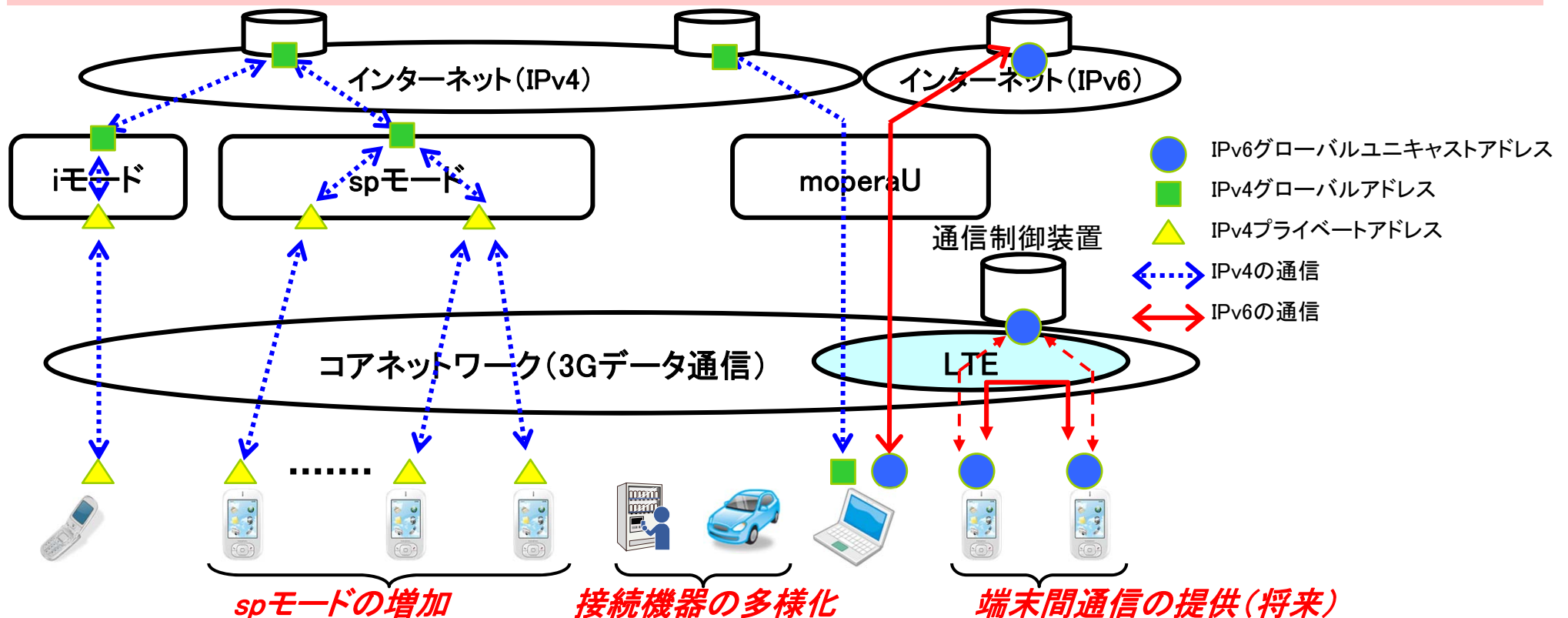
《以下の場合にはIPv6サービスをご利用いただけません》

- ・ 公衆無線LAN経由、固定網(ADSL、Bフレッツ/フレッツ光ネクスト等)経由のアクセス
- ・ 海外でのご利用

- IPv6/IPv4両方のアドレスを払い出し
- IPv6は3Gエリアでも利用可能
- 事前にIPv6利用のON設定が必要(今後、設定を不要にすることも検討)

IPv6対応の今後について

- LTEのコアネットワークはIPv6対応済みであり、スマートフォンもOS(Android)がIPv6に対応した機種が増えていくことから、モバイルによるIPv6の利用環境は整っていく。
- spモードのIPv6対応の課題は、主にインターネット接続機能の対応と、spモードのサービスの対応に分かれるが、それぞれspモードの利用状況や市場の動向を見つつ検討していく。
- モノのインターネット接続等接続機器の多様化によるIPアドレス需要のさらなる増加、事業者内NWを活用した音声サービス等端末間通信のためのエンド・エンド通信環境の提供に対応するため、IPv6アドレス対応を検討予定。



- ドコモのお客様がドコモの通信回線(3G/LTE)を利用してインターネットに接続する場合は、World IPv6 Launch以降も影響ありません。
- ドコモのスマートフォンを、Wi-Fiを有効にした上でNTT東西のフレッツ回線を経由して通信する場合に、一部サイトの閲覧やサービスの利用ができない場合があることを確認しています。
⇒詳細は、弊社ホームページでご案内予定です。

- mopera UでIPv6対応のサービスを提供中。
 - Xi(クロッシィ)のデータ通信端末とPCの組合せで、モバイルによるIPv6接続環境を実現。

- LTEの普及によりモバイルにおけるIPv6の利用環境は整って行くので、spモードにおいても利用状況や市場の動向を見つつ、IPv6対応を検討していく。

- 接続機器の多様化や端末間通信の提供などに関しても、IPv6の対応を検討予定。